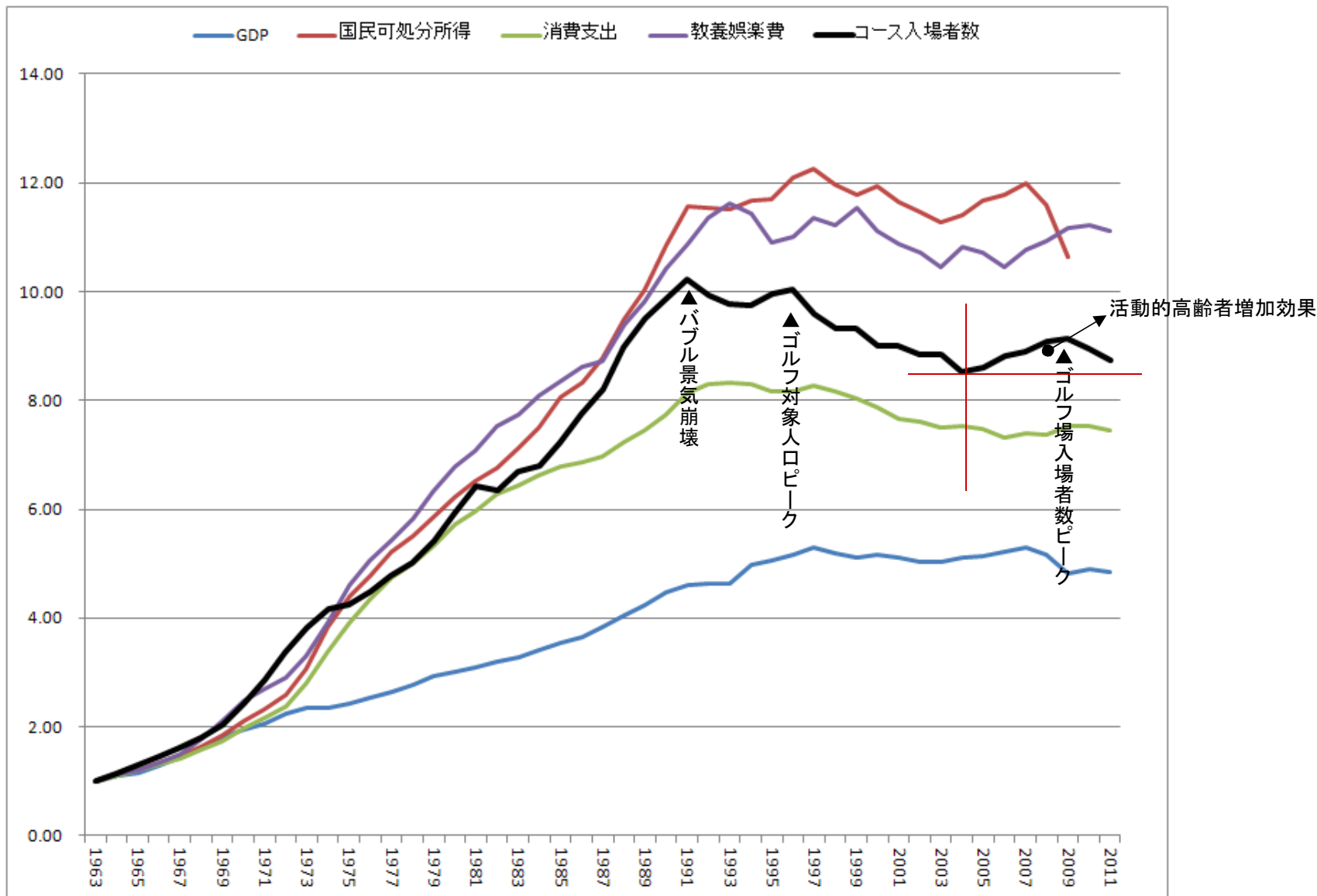
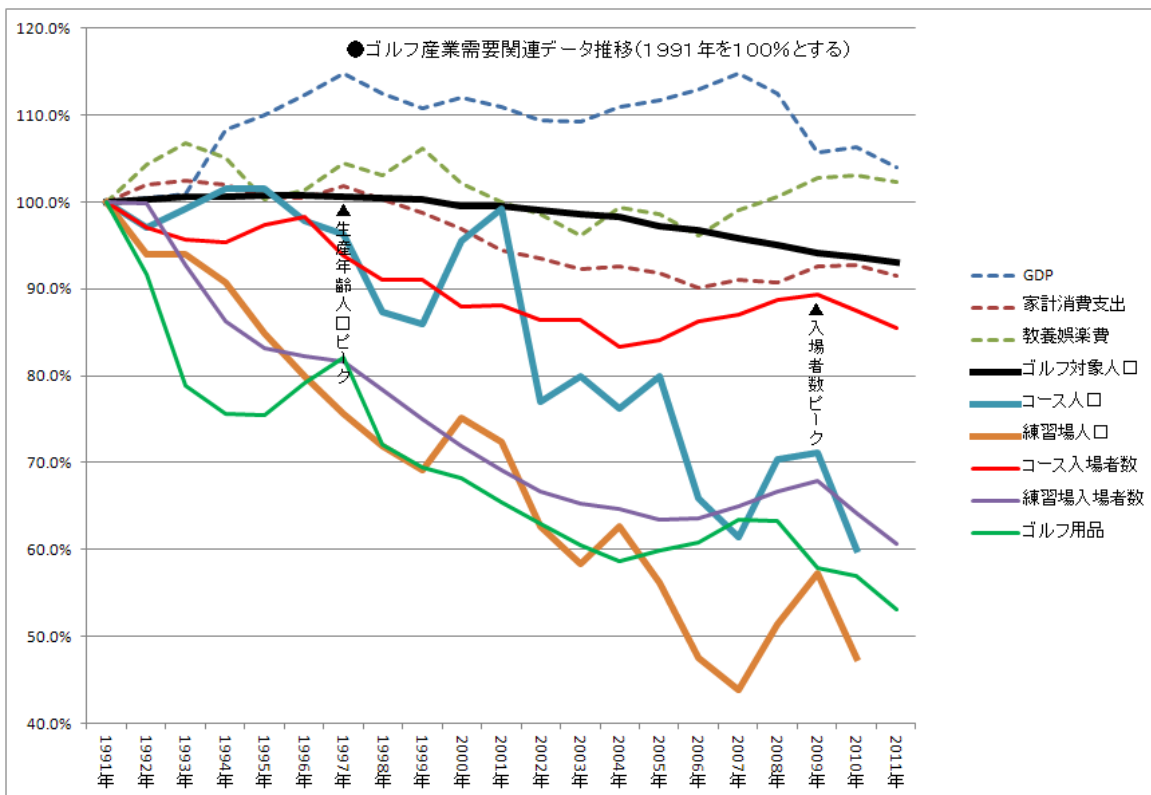


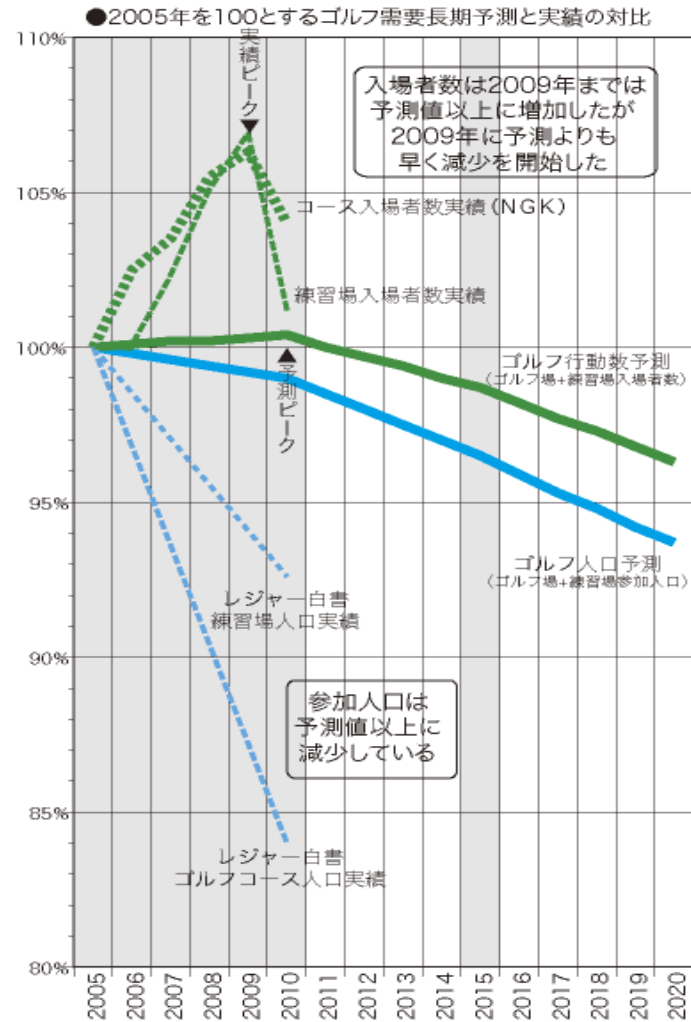
### ●経済ファンダメンタルとコース入場者数の長期推移



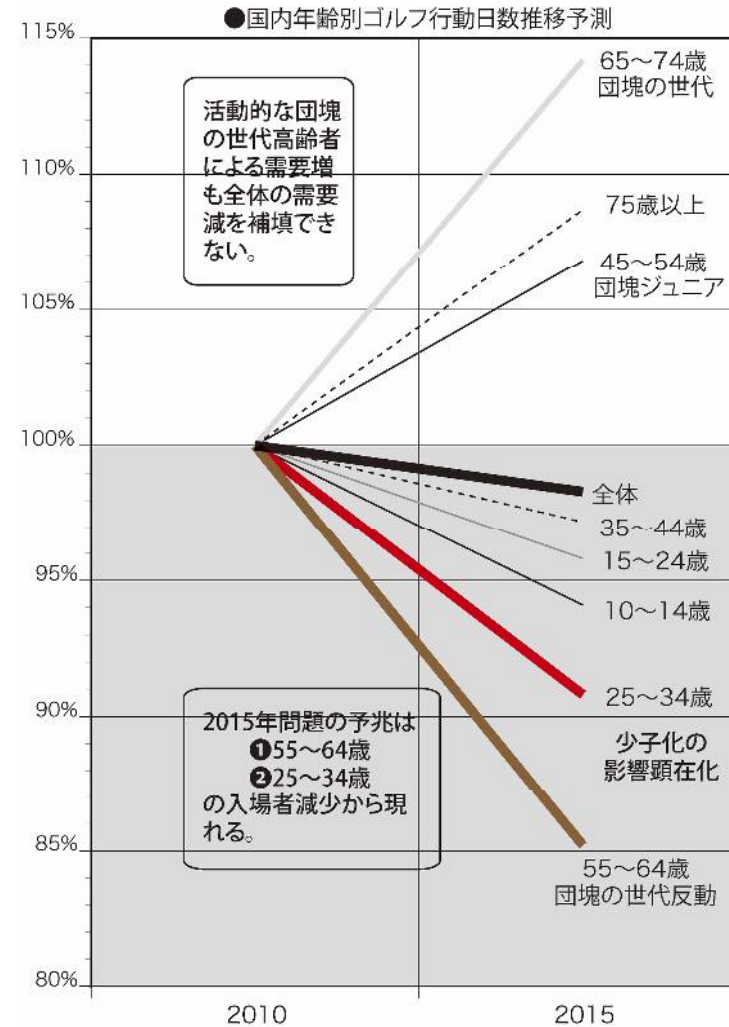


- ①低成長により消費支出、教養娯楽費の増加は期待できない
- ②ゴルフ対象人口は1997年にピークアウトし、減少し続ける
- ③コース人口は▲40%、練習場人口、ゴルフ用品市場は▲50%、減少した。
- ④コース入場者、練習場入場者は人口程に低下せず、なお2004年より増加したが2009年がピーク  
この増加は「活動的シニアゴルファー増大効果」である。

ゴルフ需要関連項目	出典・備考	単位	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	
			H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	
GDP	総務省・統計年鑑	10億円	448,903	450,653	452,758	486,552	493,588	504,262	515,249	504,843	497,629	502,990	497,720	491,312	490,294	498,328	501,734	507,365	515,520	505,113	474,297	477,327	466,826	
家計消費支出	総務省・家計調査	円・月	327,113	333,661	335,246	333,840	329,062	328,849	333,313	328,186	323,008	317,133	308,692	306,129	301,841	302,975	300,531	294,943	297,782	296,932	302,737	303,495	299,398	
教養娯楽費	総務省・家計調査	円・月	31,442	32,815	33,596	33,053	31,550	31,860	32,833	32,434	33,378	32,126	31,418	31,000	30,234	31,262	31,028	30,239	31,141	31,623	32,335	32,417	32,149	
ゴルフ対象人口	国立・社会保障人口問題研究所	千人	86,557	86,845	87,023	87,034	87,165	87,161	87,042	86,920	86,758	86,220	86,139	85,706	85,404	85,077	84,092	83,731	83,015	82,300	81,493	81,032	81,303	
参加率	ゴルフコース	レジャー白書	%	13.2%	12.7%	12.9%	13.1%	13.0%	12.4%	12.2%	11.0%	10.7%	11.9%	12.3%	9.5%	9.8%	9.4%	9.8%	8.1%	7.5%	8.6%	9.4%	7.9%	
	ゴルフ練習場	レジャー白書	%	18.1%	16.9%	18.8%	16.0%	14.9%	13.9%	13.1%	12.4%	12.8%	12.3%	10.6%	9.8%	10.5%	9.4%	8.0%	7.3%	8.6%	10.3%	8.6%		
希望参加率	ゴルフコース	レジャー白書	%	.....	.....	.....	.....	19.7%	17.9%	18.2%	16.3%	15.8%	17.3%	.....	15.5%	14.0%	14.5%	13.8%	12.4%	12.2%	13.5%	14.3%	12.0%	
	ゴルフ練習場	レジャー白書	%	.....	.....	.....	.....	16.0%	15.4%	15.0%	14.6%	12.3%	14.2%	.....	13.5%	11.0%	12.0%	11.3%	9.4%	10.1%	11.1%	13.3%	11.3%	
参加人口	ゴルフコース	レジャー白書	万人	1,350	1,310	1,340	1,370	1,370	1,320	1,300	1,180	1,160	1,290	1,340	1,040	1,080	1,030	1,080	890	830	950	960	810	
	ゴルフ練習場	レジャー白書	万人	1,850	1,740	1,740	1,680	1,570	1,480	1,400	1,330	1,280	1,390	1,340	1,160	1,080	1,160	1,040	880	810	950	1,060	880	
活動率	ゴルフコース	レジャー白書	回/年	12.6	11.5	11.2	10.2	11.0	11.2	18.4	17.7	17.0	20.4	12.1	11.9	13.5	13.3	11.6	10.8	15.0	14.3	12.8	13.4	
	ゴルフ練習場	レジャー白書	回/年	19.3	17.6	16.3	18.2	20.6	17.7	19.9	22.5	22.5	26.0	16.1	18.8	21.0	19.0	17.6	19.0	25.3	21.0	18.3	17.1	
入場者数	ゴルフコース	NGK	千人	102,325	99,364	97,833	97,512	99,651	100,529	96,032	93,228	93,228	90,000	90,175	88,409	88,376	85,307	86,046	88,235	89,020	90,786	91,481	89,509	87,540
	ゴルフ練習場	ゴルフ経営研究所	千人	153,298	153,170	142,110	132,260	127,455	126,202	125,078	120,111	114,948	110,152	106,010	102,214	100,064	99,161	97,281	97,422	99,550	102,204	104,036	98,403	93,090
ゴルフ用品小売市場	矢野経済研究所	百万円	463,270	424,805	365,295	350,415	349,510	366,835	380,230	334,170	321,430	315,910	303,080	291,910	280,190	271,490	277,670	281,820	294,030	292,960	268,050	263,840	246,163	



国立・社会保障人口問題研究所: 将来人口推計&総務省社会生活基本調査2008ゴルフ参加率・行動日数より計算



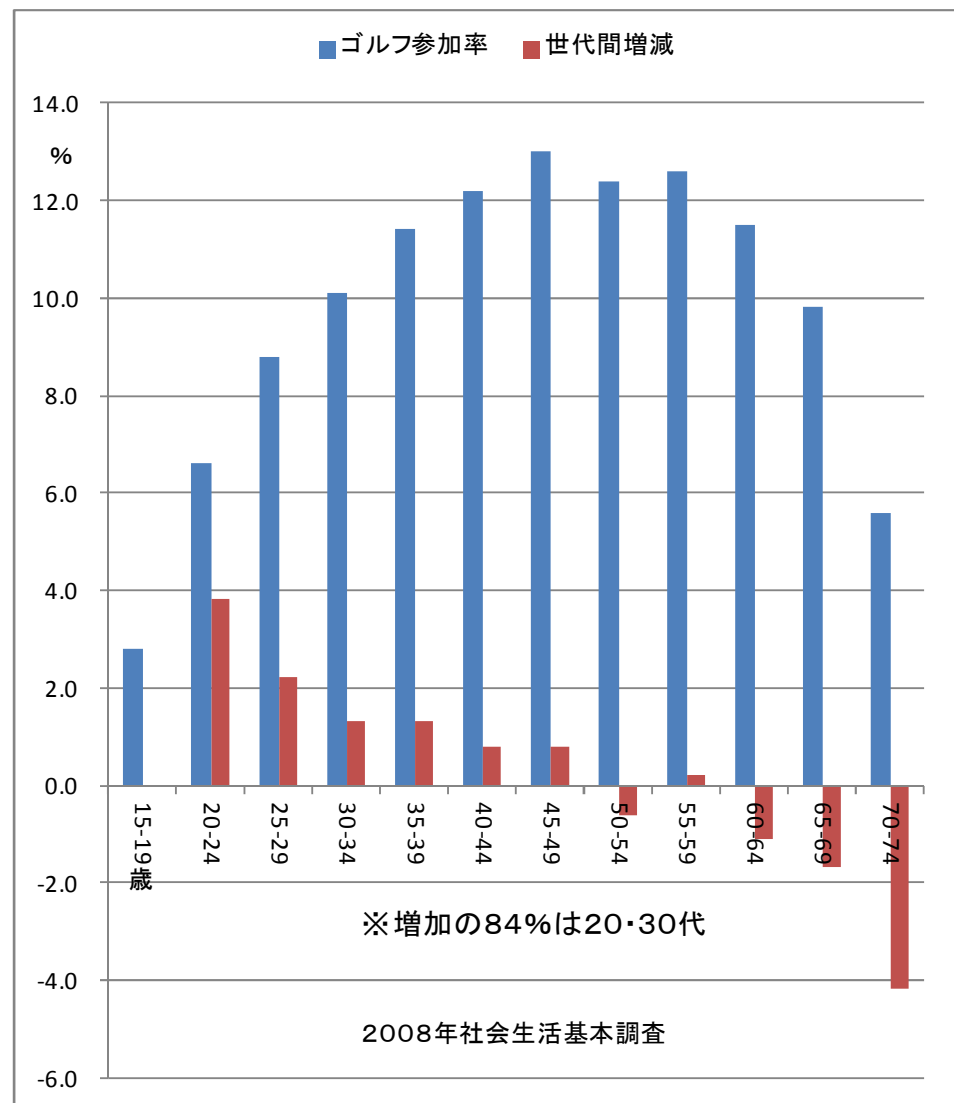
- ①2015年問題とは人口構造の変改によりゴルフコース、練習場入場者数が2010年にピークアウトし、以後連続減少期に突入するというものであった。
- ②現実にはピークが予測より1年早く2009年に訪れたとも考えられる。

- ①需要縮小は地域、年齢によって出現時期が異なる
- ②2015年の年齢別ゴルフ行動日数(コース、練習場入場者数)では  
1位: 55~64歳 2位: 25~34歳の順に縮小率が高い。これらの世代は2015年以前に縮小する可能性が高い。
- ③55~64歳はゴルフ人口コアの中核世代
- ④25~34歳は新誕生ゴルファーの最大温床である。

## ●golferの84%は20・30代で誕生する！

	ゴルフ参加率	世代間増減		
15-19歳	2.8			
20-24	6.6	3.8		
25-29	8.8	2.2		
30-34	10.1	1.3		
35-39	11.4	1.3	8.6	84.3%
40-44	12.2	0.8		
45-49	13.0	0.8	10.2	100.0%
50-54	12.4	-0.6		
55-59	12.6	0.2		
60-64	11.5	-1.1		
65-69	9.8	-1.7		
70-74	5.6	-4.2		

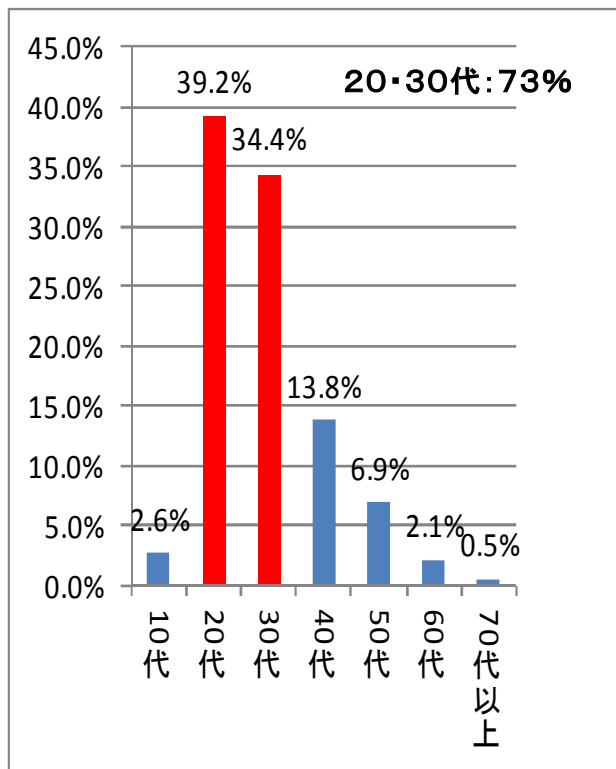
2008社会生活基本調査・ゴルフ行動者率



全体増加量の**84.3%**が**20・30代**  
 70歳以上で大きく減少  
 団塊の世代(1946~49年生まれ)は2016年  
 に70歳に到達する

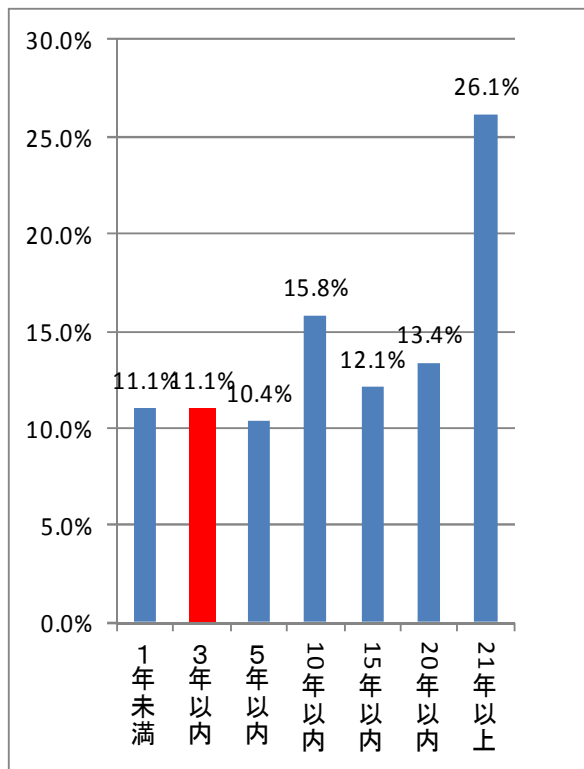
## ●新生ゴルファーは非常に不安定！ (2011年石川県コース入場者一斉調査データより)

石川県ゴルフ歴1年未満入場者

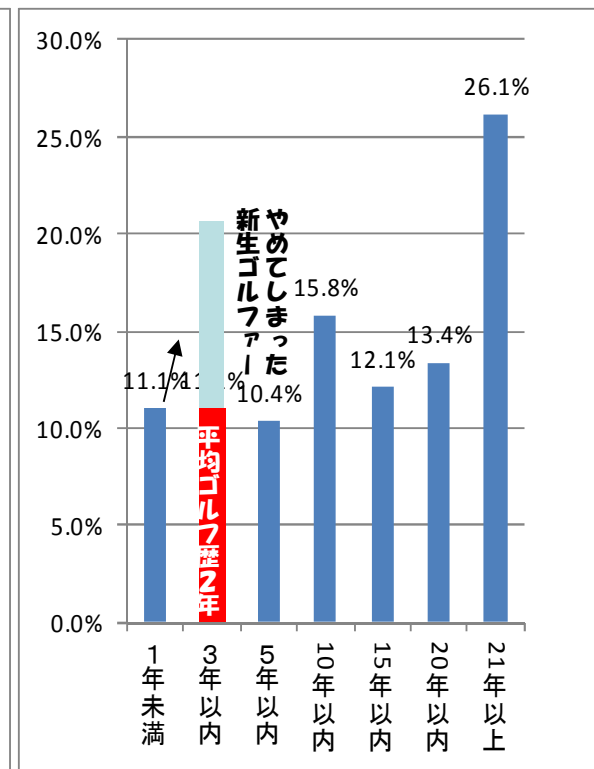


全入場者5118名中、ゴルフ歴1年未満(新生生ゴルファー)は192名(3.8%)だった。その内73%が20・30代である。

石川県ゴルフ歴別人口構成率推計



ゴルフ歴別平均プレー回数によりゴルフ歴1年未満ゴルファーは全体の11.1%と推計される。



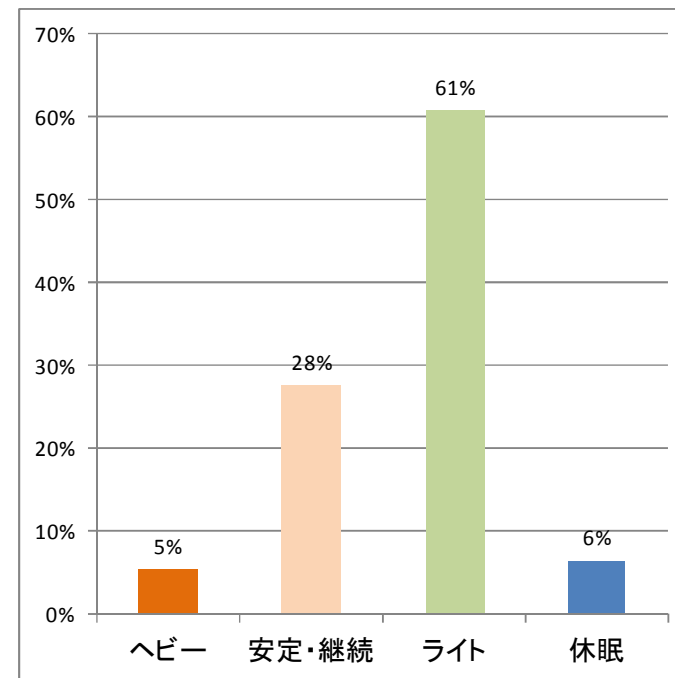
新生ゴルファーが毎年11.1%誕生し、誰も止めなければゴルフ歴3年以内(中央値2年)では22.2%までゴルフ人口が累積するはずである。

- ①社会生活基本調査による石川県ゴルフ推定人口69,900人
- ②ゴルフ歴1年未満者構成率から石川県新生ゴルファー7,740人と推計される
- ③全国ではレジャー白書2011・コース人口810万人×11.1%899,000人誕生した。

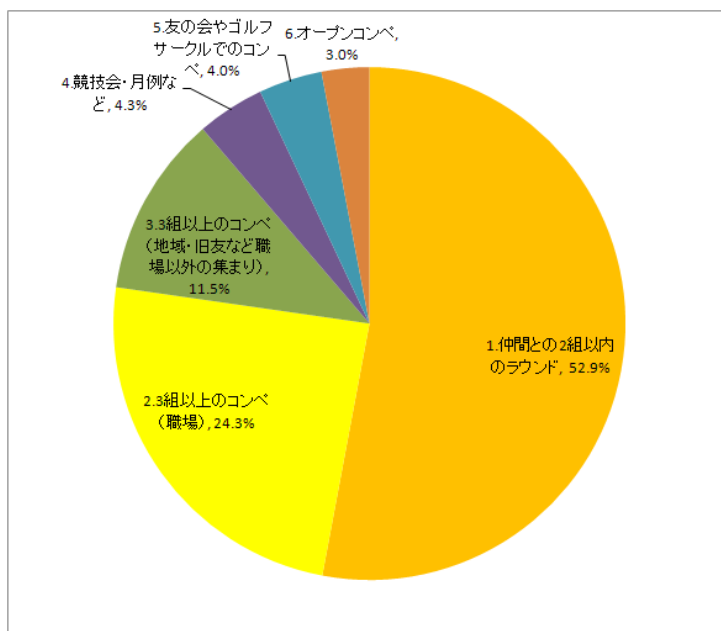
## ●20・30代ゴルファーの階層分類とその特徴

今回調査の結果、20・30代ゴルファーは年間ラウンド数により下記の階層に分類される

年間プレー回数	母集団N数	構成率	階層	%
	4,357	100%		
50ラウンド以上	68	2%	ヘビー	5%
40-49ラウンド	48	1%		
30-39ラウンド	115	3%		
20-29ラウンド	274	6%	安定継続	28%
10-19ラウンド	925	21%		
5-9ラウンド	1,258	29%	ライト	61%
4ラウンド以下	1,392	32%		
この1年ラウンドしていない	217	5%	休眠	6%
この2年ラウンドしていない	60	1%		



- ①1年以上ラウンドしていない休眠ゴルファーが6%存在する。
- ②年間9ラウンド以下の不安定ライトゴルファーが61%を占める。



③仲間との2組以内のラウンドが53%



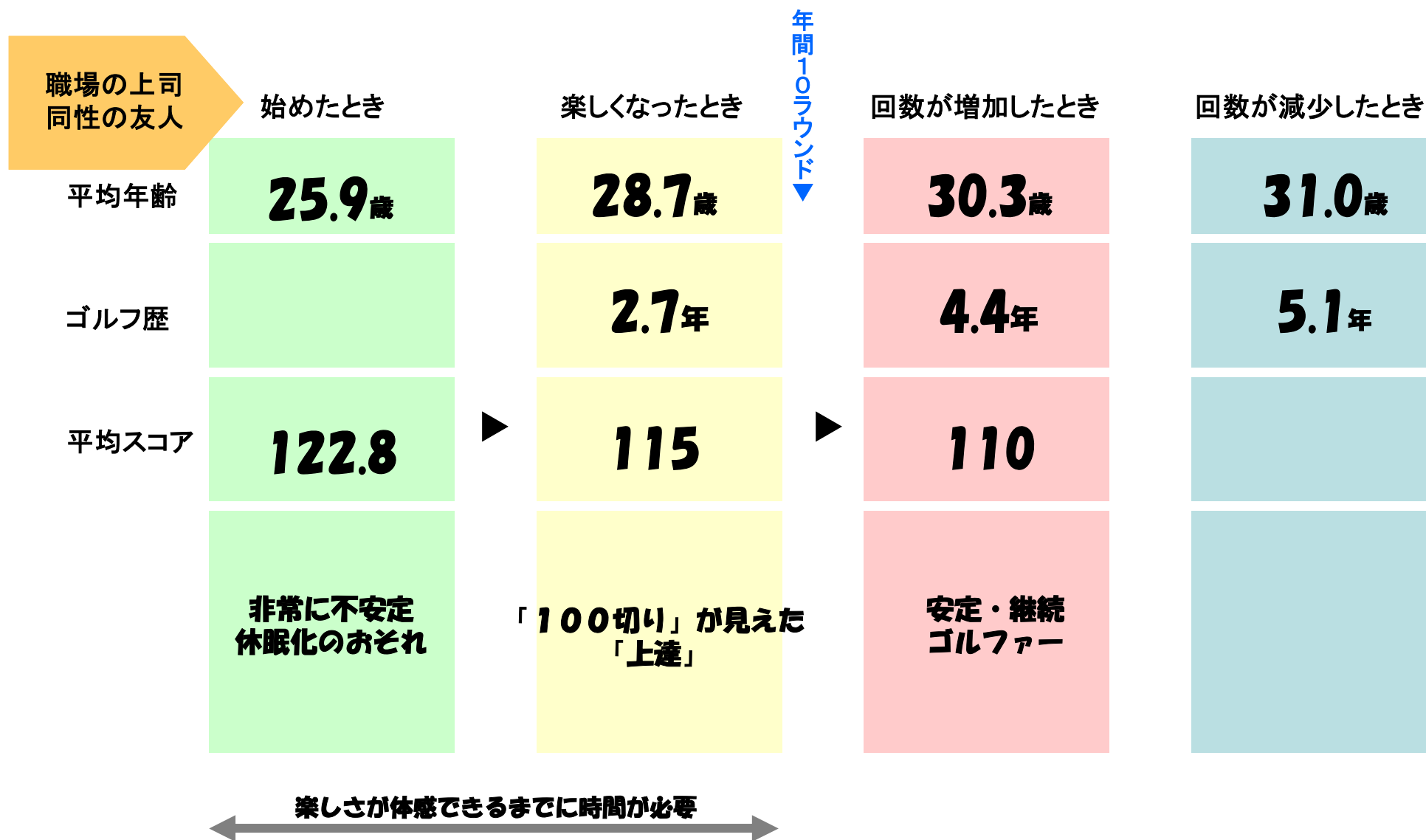
### ●ゴルフする目的・位置づけ

		スポーツとして汗を流すため	いろいろな持っている趣味の1つ	一番好きな趣味として	自分の生活の中心にあるものとして	みたい	良いスコアを出すため技術の向上にゴルフ	基本的には遊び、楽しい	仕事の付き合いで必要だから	家族コミュニケーションの一環として	出会うの場として	健康を維持するための生涯スポーツとして	大会や競技に参加し、良い成績を残すため	キャリア、ステータスのため	その他( )
		49.9	55.1	28.7	5.8	42.7	52.4	23.9	12.3	5.4	32.5	2.8	3.5	0.8	
休眠ゴルファー	この1年ラウンドしていない	32.3	66.2	6.2	0.0	21.5	66.2	15.4	16.9	3.1	21.5	0.0	3.1	1.5	
	この2年ラウンドしていない	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	55.6	27.8	22.2	5.6	22.2	0.0	5.6	0.0	
ライトゴルファー	4ラウンド以下	41.0	49.4	14.5	1.2	33.7	60.2	24.1	9.6	1.2	24.1	1.2	2.4	1.2	
	5-9ラウンド	51.8	63.9	25.3	4.8	36.1	51.8	21.7	13.3	6.0	31.3	1.2	2.4	0.0	
安定・継続ゴルファー	10-19ラウンド	62.7	53.0	43.4	4.8	60.2	49.4	25.3	12.0	8.4	43.4	2.4	4.8	1.2	
	20-29ラウンド	56.6	51.8	56.6	24.1	60.2	31.3	27.7	13.3	12.0	48.2	9.6	6.0	1.2	
ヘビーゴルファー	30-39ラウンド	52.4	47.6	69.0	23.8	69.0	35.7	33.3	9.5	4.8	45.2	14.3	0.0	0.0	
	40-49ラウンド	58.8	35.3	82.4	23.5	64.7	41.2	11.8	35.3	5.9	47.1	23.5	11.8	0.0	
	50ラウンド以上	54.2	37.5	50.0	29.2	50.0	25.0	37.5	16.7	16.7	29.2	16.7	16.7	0.0	

ボーダーライン

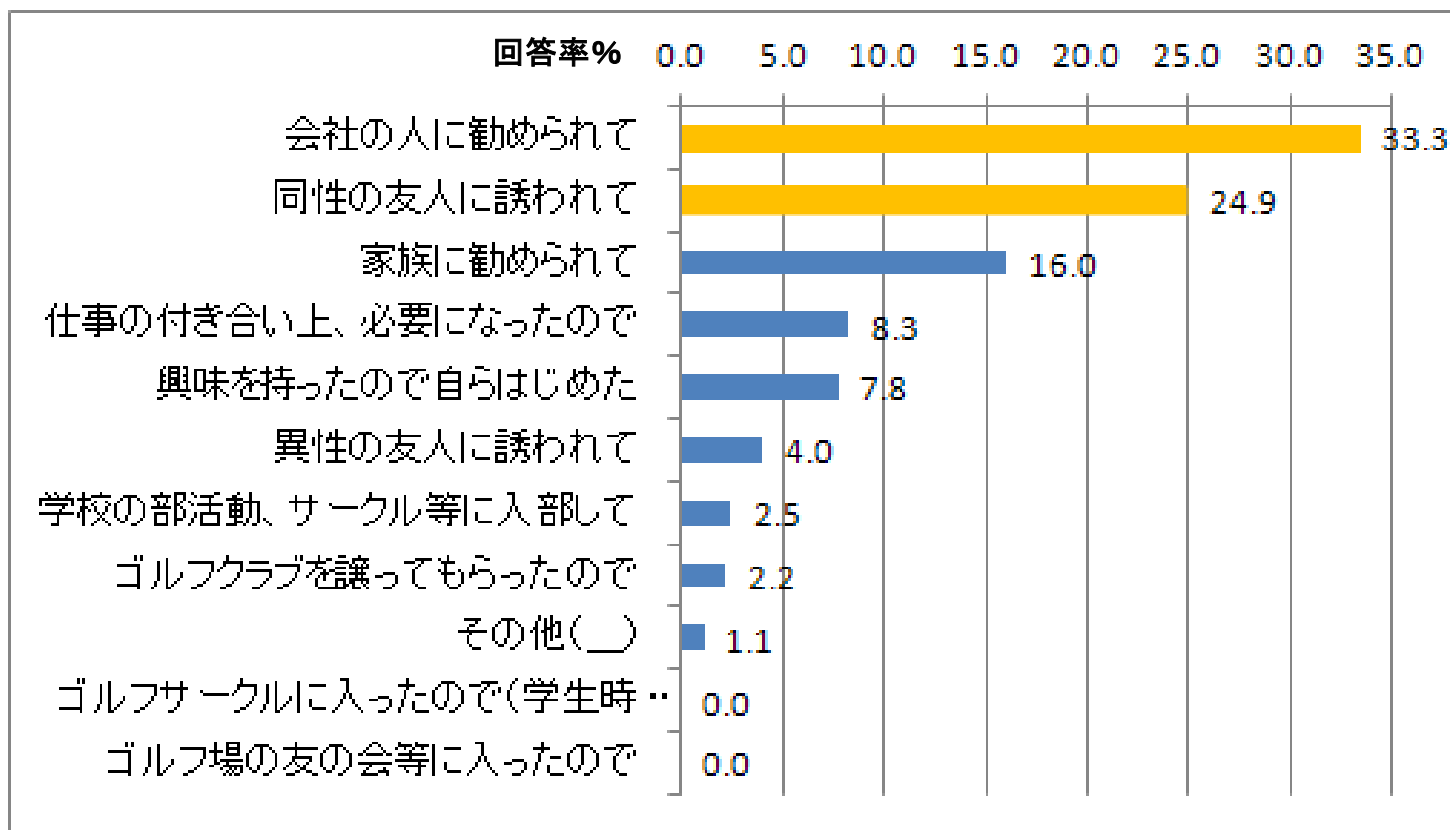
- ①20・30代ではゴルフは「多趣味のひとつ」にすぎない。
- ②しかし 安定・継続ゴルファー以上では 若者であっても「ゴルフの位置」が変化する。  
ゴルフが一番好きな趣味、生活の中心、高い技術向上意欲 へと変化する。
- ③その境界は年間10ラウンド

●誕生から安定・継続化へのステップ





●ゴルフを始めたきっかけ

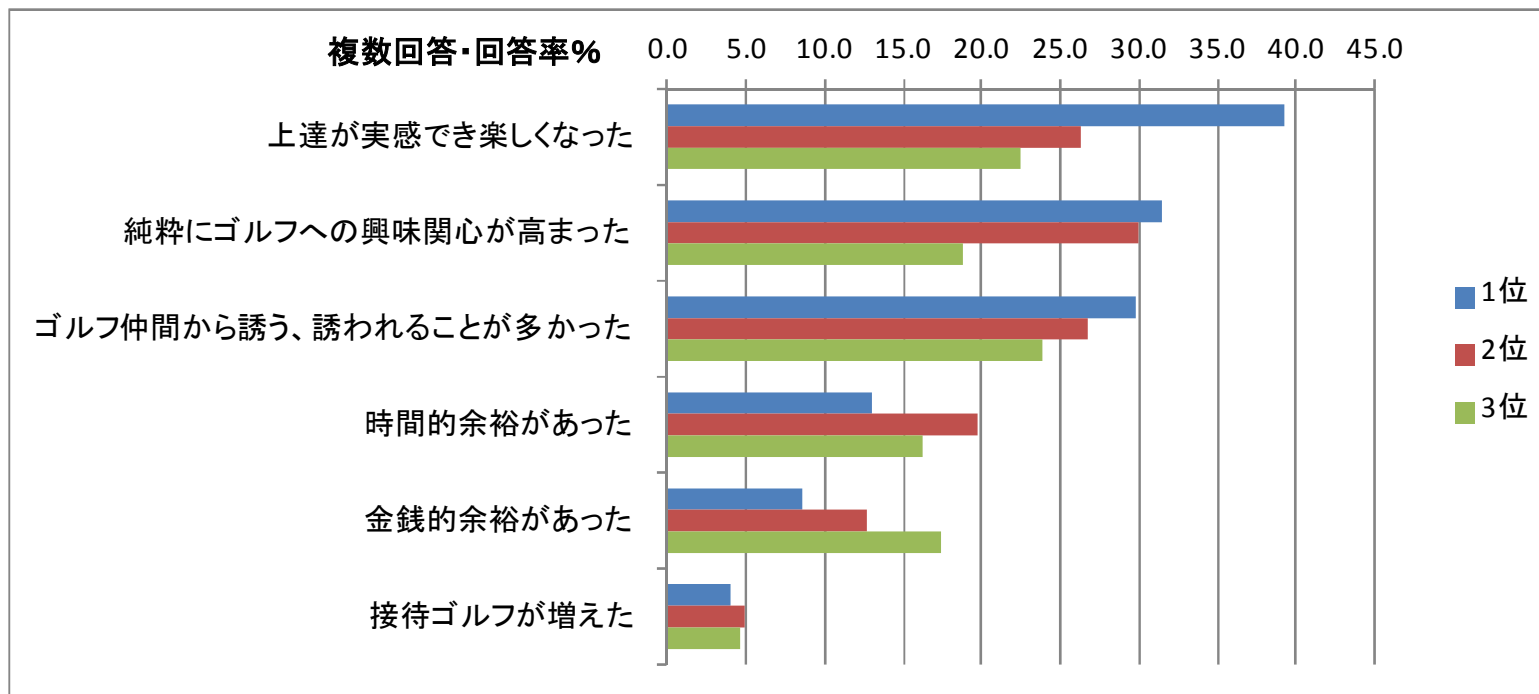


- ①始めたきっかけは「会社の人に勧められて」が33%と最大である。  
依然として「企業内ゴルフ」は若者をゴルフに導く最有力ファクターであることを再認識すべき

### ●回数が増加した要因

Q27.そゴルフの頻度が上がった理由を教えてください。次の中から当てはまるものを選んで順位をつけてください。

	%					
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
上達実感でき楽しくなった	39.3	26.3	22.4	6.5	4.6	0.9
純粋にゴルフへの興味関心が高まった	31.5	29.9	18.7	10.6	7.6	1.6
ゴルフ仲間から誘う、誘われることが多かった	29.8	26.7	23.8	10.0	5.8	3.9
時間的余裕があった	13.0	19.7	16.1	31.3	15.2	4.7
金銭的余裕があった	8.6	12.7	17.4	15.8	37.7	7.7
接待ゴルフが増えた	4.1	5.0	4.6	12.9	7.7	65.8

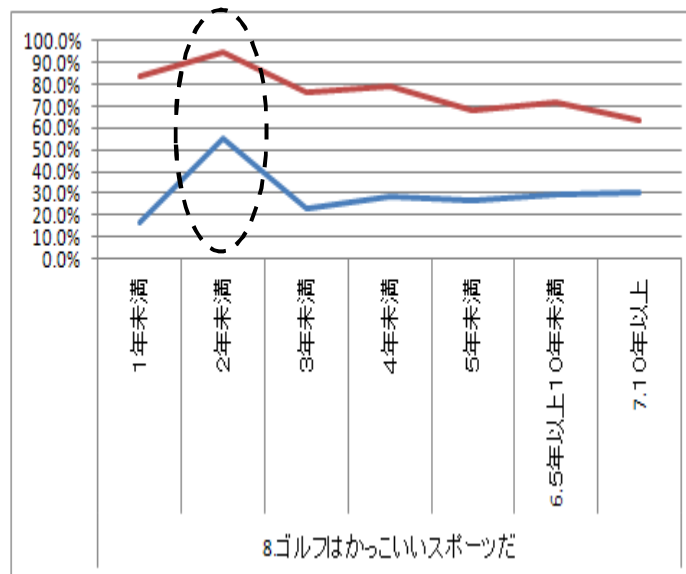
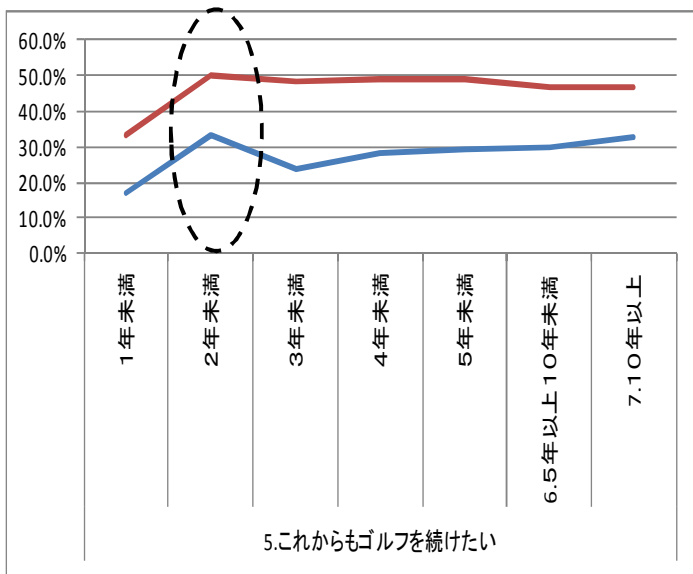
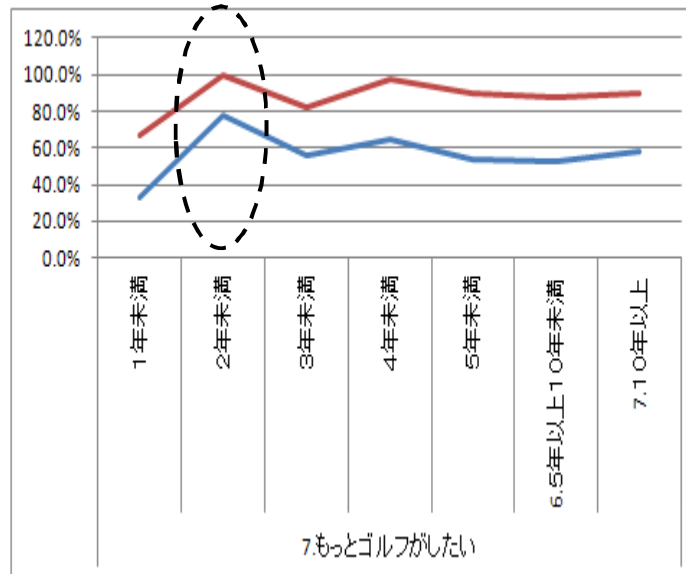
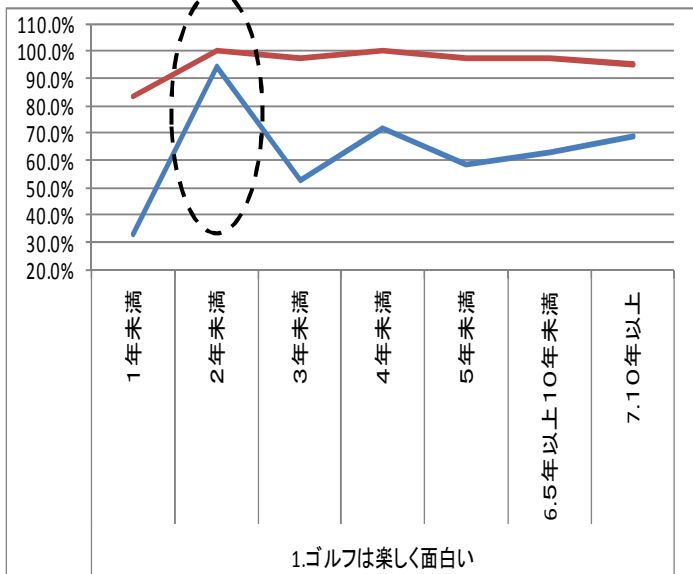


①回数が増加する(安定・継続ゴルファーとなる)契機は「上達の実感」、「興味関心の高まり」、「仲間との誘い誘われ」である。

●ゴルフ歴2年未満段階がゴルフマインドのピーク

— 1.ゴルフは楽しく面白い

— 7.もっとゴルフがしたい

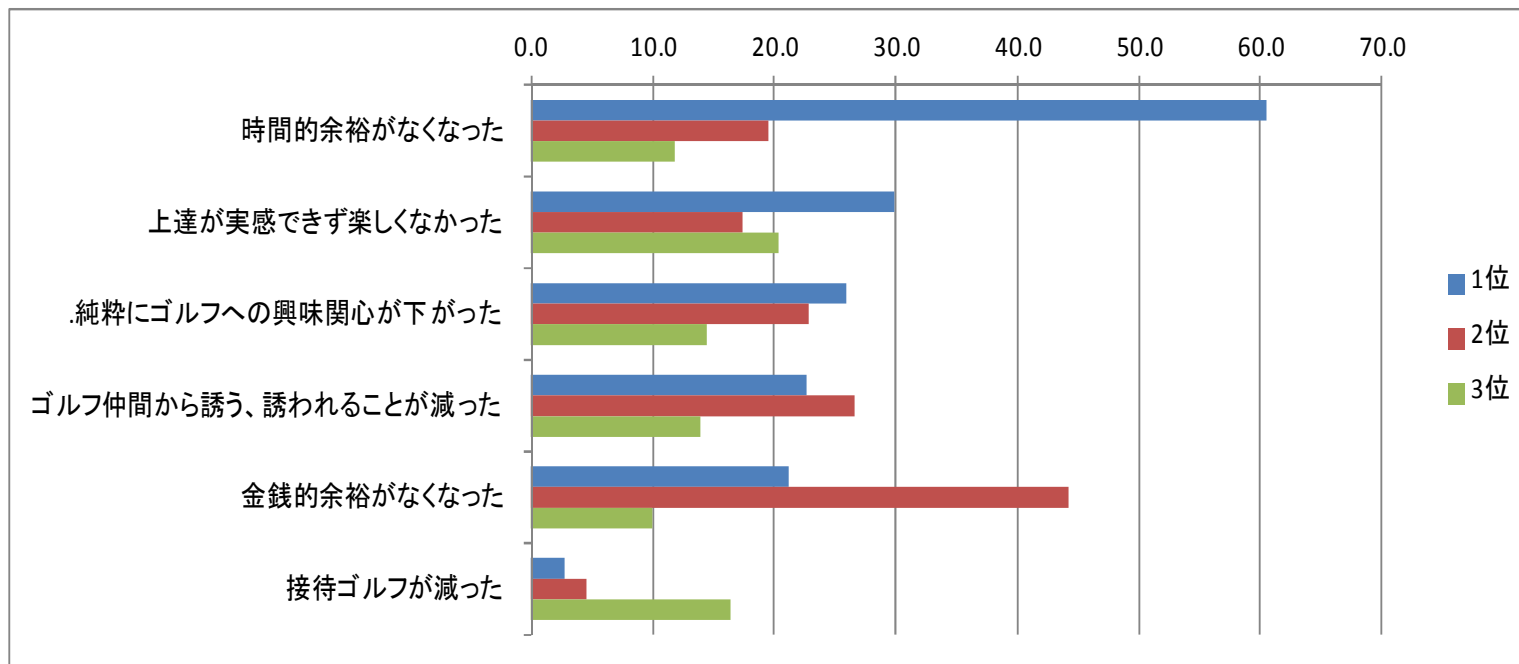


2年以内に「115(100が見える)」段階にスムーズに到達すればゴルフをやめない。

### ●回数が増えた要因

Q30.ゴルフの頻度が下がった理由を教えてください。次の中から当てはまるものを選んで順位をつけてください。

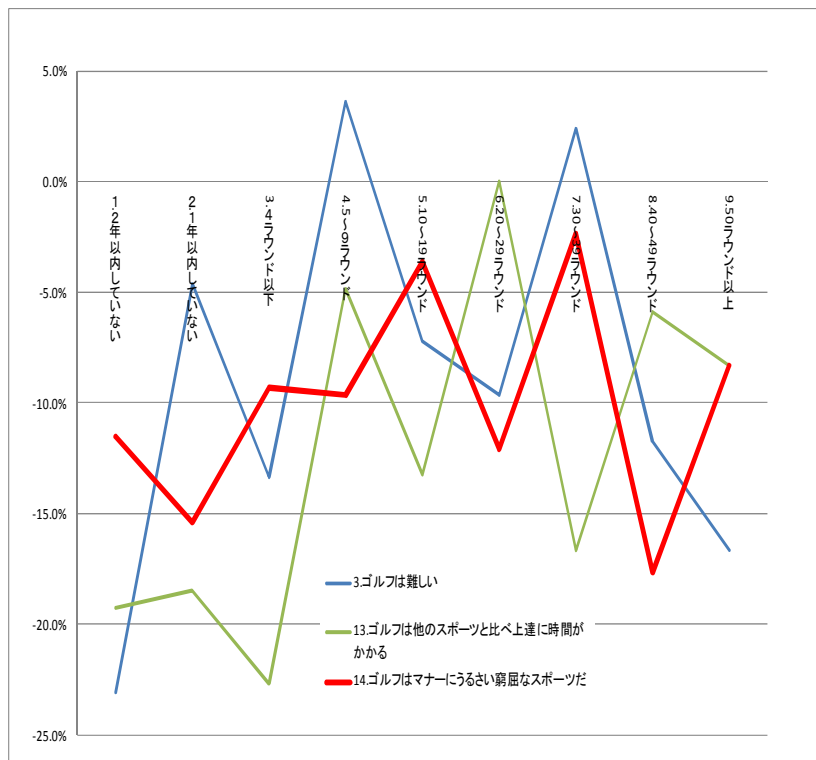
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
時間的余裕がなくなった	60.5	19.6	11.7	6.0	2.1	0.0
上達実感できず楽しなかった	29.8	17.3	20.4	16.2	9.0	7.2
純粋にゴルフへの興味関心が下がった	26.0	22.8	14.4	11.9	17.0	7.9
ゴルフ仲間から誘う、誘われることが減った	22.7	26.6	14.0	21.2	11.1	4.4
金銭的余裕がなくなった	21.2	44.3	10.0	6.7	17.2	0.7
接待ゴルフが減った	2.7	4.6	16.4	6.6	8.2	61.6



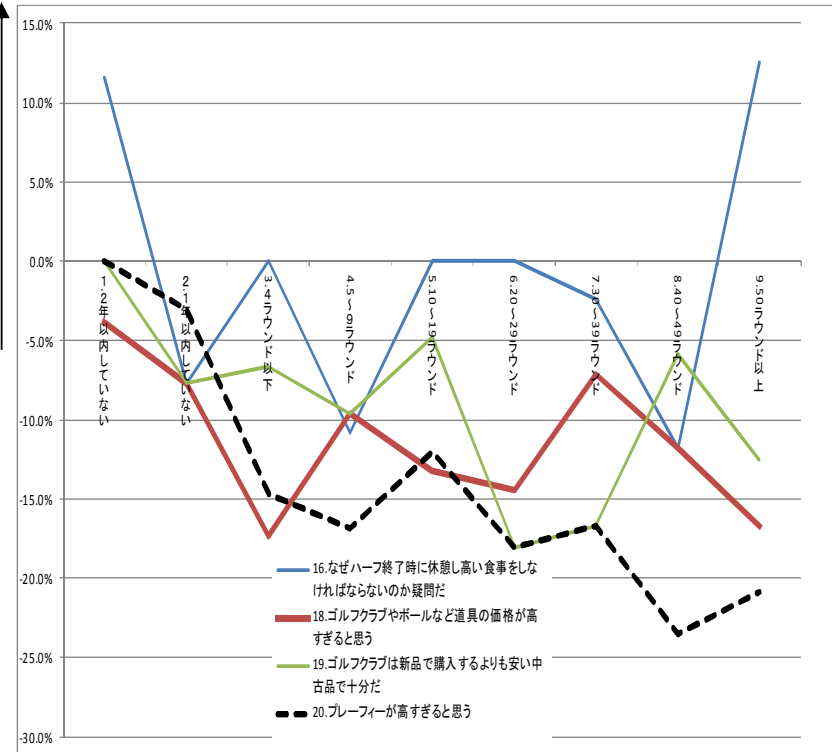
①回数の低下(ゴルフからの遠ざかり)要因にも「上達の実感」、「仲間との誘い誘われ」の存在が大きい

## ●ゴルフネガティブ要因に対して① 初ラウンド時と現在の肯定率(そう思う)増減

ゴルフに対するネガティブマインド増大



「そう思う」が初ラウンド時より増加



「そう思う」が初ラウンド時より減少

ゴルフマナーが窮屈だと感じる比率は  
ライトゴルファーもヘビーゴルファーも大差がない

●調査結果が示唆するゴルフ産業界のとりべきアクション

- ①ゴルフの本当の楽しさ・素晴らしさは「115」が見えてはじめて理解できることのPR
- ②ゴルフ開始後、短期・円滑に115に到達させるゴルフ界の体制強化
- ③職場の良き上司・同僚が新生ゴルファー誕生させる重要な契機・パワーであることの再認識と「企業(職場)内ゴルフ活用」の対外的な働きかけ
- ④個々のゴルファーでなく、「仲間単位(ミニグループ)」でとらえ、サポートするゴルフ界の体制強化

## 20・30代ゴルフプレー像

- ・総合職・世帯所得 500 ～ 800 万が 41%とボリューム
- ・ゴルフ部、同好会体験者 6%
- ・ジュニアゴルフ体験者 10%
- ・ゴルフ開始年齢 25.9 歳
- ・初ラウンドスコア 139.6

- ・会員権、オフインシャル HOP の所有意欲低い
- ・仲間との 2 組以内、職場のコンパを中心
- ・取引先とのラウンドは少ない
- ・将来プレー回数減少予測が増加予測をやや上回る
- ・増減要因は①時間、②仲間、③金銭の順である。

ヘビー  
6%  
30R以上

平均スコア  
98.7

技術  
向上  
傾向

安定  
継続  
27%  
年間 10 ～ 29R

平均スコア  
101.7

ゴルフの費用、時間、アナーの窮乏等のネガティブイメージ同感率はツートレジャー層まで差がない

技術向上傾向

楽しむ趣味がない

- 回数が増加したとき  
30.3 歳・スコア 110  
・ゴルフ歴 4.4 年
- 上達の実感出来楽しくなった
  - 興味関心が高まった
  - 誘い・誘われる機会の増加

- 回数が増えたとき  
31.0 歳・ゴルフ歴 5.1 年
- 上達の実感得られず楽しくない
  - 誘い・誘われる機会の減少
  - 時間余裕の減少

安定・継続ゴルフアへの鍵  
上達&仲間

ライト  
61%  
4 ～ 9R

平均スコア  
111.4

楽しくなったとき  
28.7 歳・スコア 115  
・ゴルフ歴 2.7 年

- ・ゴルフは楽しい
- ・もっとゴルフがしたい
- ・ゴルフ歴 2 年未満が最大

休眠  
6%  
1年以上プレーしていない

平均スコア  
122.8

始めたきっかけ

- ①会社の人に勧められて
- ②同性の友人に誘われて

- ・ゴルフ開始年齢 25.9 歳